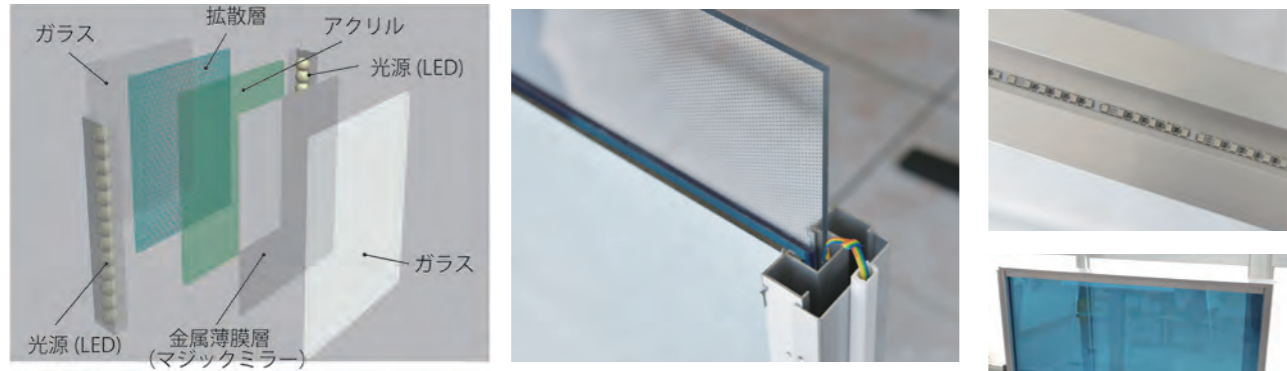


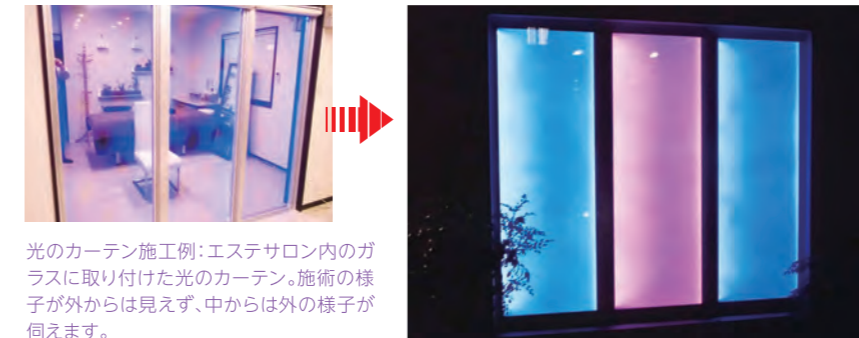
光のカーテンのしくみ



左: ガラスよりも透過度や輝度の高いアクリルをガラスで挟み、LEDを組み込んで夜間でも外から部屋の中が見えない光のカーテンを実現。
 中: ガラスに挟まれたアクリルのLED導光板により、ガラス全体にまんべんなく光がゆきわたります (ガラスの間のアクリル板を持ち上げたところ)。
 右: 窓枠内部に配したLEDの光源。



沖縄の未来を担う
 人づくり・モノづくりを紹介します。



光のカーテン施工例: エステサロン内のガラスに取り付けた光のカーテン。施術の様子が外からは見え、中からは外の様子が伺えます。

光のカーテンから広がる可能性



左: 光のカーテンの技術を大型ビルのガラス製のカーテンウォール (壁体をカーテンのように骨組みに取り付ける方式) に組み込み、カーテンウォールの壁全体を使って画像広告などに使用することができる光のカーテンウォール。
 中・右: 光のカーテンウォールの技術を使った「世界最大の屋外シアター付きホテル」の実現に向けて、現在、実証実験の準備が進められています。



青色LEDと赤色LEDを利用し、カーテンのように左右に開いたり、ブラインドのように上下する光の窓。デザイン性も高く、ビルの窓を彩ります。遮光効果も高く、単純に景観を楽しむだけでなく有害な紫外線も防ぎます。

マジックミラーの原理とアクリルを使ったLED導光板で近未来の窓を実現

[未来企画]

世界初の技術で
 光が織りなす未来のカーテン

今や、家庭をはじめ、ビルや工場、信号機、東京スカイツリーに至るまで、さまざまな照明に使用され、省エネやコスト削減などに役立てられているLED (発光ダイオード)。南風原町喜屋武に本社を構える未来企画ではLEDと窓ガラスを組み合わせて、光のカーテンと名づけた独自の商品を開発し、注目を浴びています。

未来企画では当初、マジックミラーの原理とLEDを利用して、昼間も夜間も外からは室内が見えず室内からは外が見える「マジック手摺」を考案し、商品化。この技術をベースに透過度や輝度の高いアクリルをガラスで挟み込みLEDの光源を取り入れることで、発光強度を飛躍的に向上させ窓ガラスに応用することに成功。加えて、カラー制御を確立させ、250色ものバリエーションを持つ光のカーテンを実現し、カーテンやブラインドのいない窓を完成させました。また現在、光のカーテンはさらなる進化を遂げ、ビルの壁面に画像を映し出す光のカーテンウォールや、世界最大の屋外シアター実現に向けた実証実験の準備を進めるなど、日々、新たな可能性への取り組みが行われています。

国内特許はもちろん国外特許も出願済の光のカーテン。沖縄で生まれた夢のある技術が世界の窓を彩るだけでなく、ショービジネスの世界で活用される日も近いかもしれません。



光のカーテンの技術のベースになったマジック手摺



お話を伺った株式会社未来企画
 代表取締役 野原 剛さん

未来企画
 901-1113
 沖縄県島尻郡南風原町喜屋武196-4
 098-851-3803



「OKICA」はバス、モノレール両方で使用できます!



「OKICA」はバス、モノレール両方で使用できます!